

【8】6. 天使について



(4) 聖なる天使たち

- ①多くの天使たちは、創造時に与えられた聖なる状態を保持した。
- ②彼らは今、神の目的を達成するために、神に仕える霊として奉仕している。特に、**救いを受け継ぐ者たちのために奉仕している。**

【注解】

- ②「救いを受け継ぐ者たち」とあるが、「救いを受けた者たち」とすると、天使が未信者のために奉仕していないことになってしまう。**天使は、神がこれから救おうとしている者たちのためにも奉仕している。**
- 「救いを受け継ぐ者たち」という場合は、英語的にはinheritである。この言葉には、神から遺産として救いを頂くというニュアンスがある。

69

【9】7. 人間について



- ①人間は、「神のかたち」に創造された。
- ②人間は、罪を犯して墮落し、霊的ないのちを失った。
- ③人間は、数々の違反と罪の中で死んでおり、**全的に墮落している。この墮落した性質は、イエス・キリストを除くアダムの子孫に受け継がれている。**
- ④人間は、神の恵みなしには変わることができない。

【注解】

- 「全的に墮落している」とは、どの点においても神の基準に達しないという意味である。

70

【9】7. 人間について



創1：27

神は人をご自身のかたちとして創造された。神のかたちとして人を創造し、男と女に彼らを創造された。

71

【9】7. 人間について



ローマ5：12～21

- 12 こういうわけで、ちょうど一人の人によって罪が世界に入り、罪によって死が入り、こうして、すべての人が罪を犯したので、死がすべての人に広がったのと同様に
- 13 実に、律法が与えられる以前にも、罪は世にあったのですが、律法がなければ罪は罪として認められないのです。
- 14 けれども死は、アダムからモーセまでの間も、アダムの違反と同じようには罪を犯さなかった人々さえも、支配しました。アダムは来たるべき方のひな型です。
- 15 しかし、恵みの賜物は違反の場合と違います。もし一人の違反によって多くの人が死んだのなら、神の恵みと、一人の人イエス・キリストの恵みによる賜物は、なおいっそう、多くの人に満ちあふれるのです。
- 16 また賜物は、一人の人が罪を犯した結果とは違います。さばきの場合、一つの違反から不義に定められましたが、恵みの場合は、多くの違反が義と認められるからです。

72

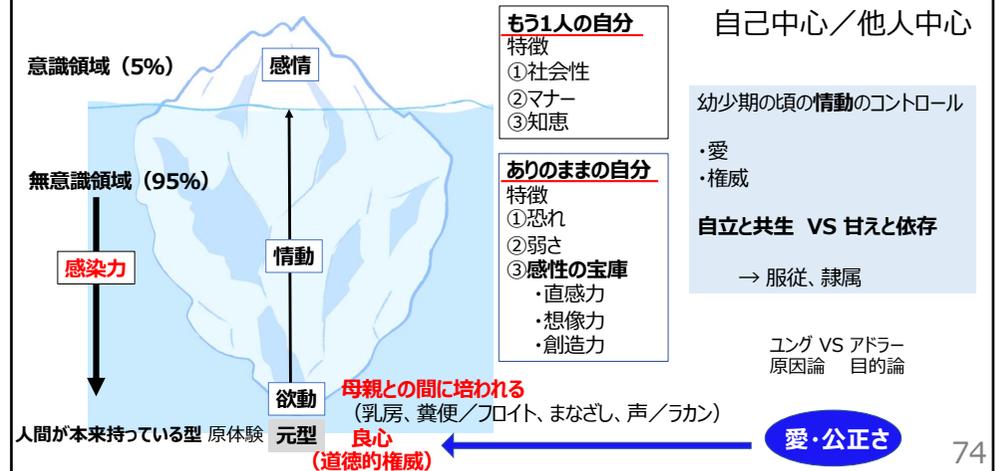
【9】7. 人間について



- 17 もし一人の違反により、一人によって死が支配するようになったのなら、なおさらのこと、恵みと義の賜物をあふれるばかり受けている人たちは、一人のイエス・キリストにより、いのちにおいて支配するようになるのです。
- 18 こういうわけで、ちょうど一人の違反によってすべての人が不義に定められたのと同様に、一人の義の行為によってすべての人が義と認められ、いのちを与えられます。
- 19 すなわち、ちょうど一人の人の不従順によって多くの人が罪人とされたのと同様に、一人の従順によって多くの人が義人とされるのです。
- 20 律法が入って来たのは、違反が増し加わるためでした。しかし、罪の増し加わる場所に、恵みも満ちあふれました。
- 21 それは、罪が死によって支配したように、恵みもまた義によって支配して、私たちの主イエス・キリストにより永遠のいのちに導くためなのです。

73

【9】7. 人間について



74

【9】7. 人間について



➤母親との関係

- タイプ1...一生懸命がんばって、いい子でいるために完璧を目指す。
- タイプ2...にっこりとして優しいことで受け入れてもらおうとする。
- タイプ3...効率よく達成、成功し、認めてもらおうとする。
- タイプ4...感受性の豊かさを武器に他の子供たちとの感じ方や美意識の違いを訴え、特別な存在と認識してもらおうとする。
- タイプ5...情報や知識を収集し、自らの頭の良さや知恵の豊富さを認めてもらおうとする。
- タイプ6...お母さんの言いつけをきちんと守り、懸命に誠実さを示す。
- タイプ7...楽道家としての明るさで歓心を買おうとする。
- タイプ8...正義を貫く強さを評価してもらおうとする。
- タイプ9...穏やかな雰囲気をつくり、お母さんとの間に好ましい調和を築こうとする。

75